

過程への女性の参画の拡大や、男女共同参画の視点に立った災害に関する啓発資料の作成などに取り組み必要がある。今後も、職員一人ひとりの災害対応能力の向上や地域防災の人材育成に取り組み。

◇関連質問

・災害時要援護者の避難支援  
(明政会)

福山駅前広場整備について (水曜会)

**問** この事業は、バス、タクシーの乗降場を再配置し、一般車両を通過車両と送迎車両に分け、送迎車両については、地下送迎場を新設し混雑を解消するものである。現在の進捗状況と今後の予定は。また、地下送迎場の建設を予定している場所には、福山城御水門(おみづもん)周辺の遺構があるということで、保存活用についてはいろいろと報道もされているが考えは。

**答** 駅前広場整備は、市民はもとより本市を訪れる多くの人が利用される駅前の交通結節点としての機能向上を図るとともに、安全

性や利便性を備えた中核市の玄関口にふさわしい、魅力ある都市空間を創出するため施工している。現在の進捗率は、西側の本体工事を施工するための地盤改良工事を済ませ、11月末で約12%であり、遺構の二次発掘調査が済み次第、東側の地盤改良、本体工事を進め、20年度末の完成を目的に取り組んでいる。石垣遺構の保存、活用方法については、今後の発掘調査の状況を踏まえ、現在の計画の中で福山城の歴史がしのばれるものとなるよう、福山市文化財保護審議会や市議会へ示し、意見を伺う。

◇関連質問

・文化財保護とまちづくりについて  
(公明党)  
・駅前広場整備事業について  
(日本共産党)

鞆港埋め立て架橋計画について (日本共産党)

**問** ①市長は、この計画の必要性のひとつに慢性的渋滞の解消をあげている。鞆町住民などの調査では慢性的交通渋滞はなく、橋を架けても、その通過

交通量は最大でも2000台と予測される。県・市の計画交通量は日量7300台だが、その算出根拠は。②環境影響評価では、鞆町でなく、曙小学校の気象データを使用しており不適切である。また、景観予測の評価で、埋め立て架橋は景観破壊と評価すべきだが、影響は小さいと結論つけている。事業を撤回せよ。



鞆町住民などによる交通量調査

**答** ①7300台は、交通センサスに基づき予測された。②環境影響評価は、大気・騒音などの全分野で環境基準を満たし、周辺への影響は小さいと考える。歴史的文化遺産や景観も、県文化財保護審議会答申や鞆地区道路港湾景観検討委員会の提言を踏まえ、その

影響を最小限度としている。

◇関連質問

・鞆の都市計画について  
(水曜会)

全国学力・学習状況調査の結果 (水曜会)

**問** 文部科学省が、19年4月に43年ぶりに実施した全国学力テストの本市の結果とその分析は。

**答** 小学校国語の基礎学力、活用力は、全国平均を上回っていたが、中学校国語の活用力が1.0ポイント、数学の活用力が3.0ポイント全国平均を下回っていた。総合すれば全国平均並みだが、県と同様に中学校に、より課題があり、基礎学力の定着とともに、観察・実験、レポートの作成、論述といった、知識技能を活用する学習の充実が重要であると考えている。

◇関連質問

・全国学力テストについて  
(公明党)  
・全国一斉学力テストの結果の公表について  
(明政会)